

平成24年10月10日（水）に開催した公立大学法人静岡文化芸術大学第3回経営審議会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) (仮称) 英語・中国語教育センターの設置について

(2) 公立大学法人静岡文化芸術大学教員の任期等に関する規程の制定について

ア 趣旨

中期計画に掲げる語学教育強化の実現を図るため、(仮称) 英語・中国語教育センターを設置すること及び当センターの設置に伴い、新たに任期付の特任講師を採用するため、大学の教員等の任期に関する法律に基づき、本学の教員の任期等に関する規程を制定することについて、その承認を求める。

イ 主な意見

- ・語学教育強化の必要性、センター設置の目的は何か。また、なぜ英語・中国語なのか。
- ・国際化する社会の要請に応えるため、大学全体の語学力強化を図る。27年度のカリキュラム改正で単位数等を増やす予定だが、それに先立ち、現在のカリキュラムでも強化を図るため当センターを設置する。また、大学の規模、外国語授業数、多文化共生を推進する浜松市の地域特性等を考慮し、多様な言語を学べる多様性を確保しつつ、まずは日本の社会で求められている英語、中国語を強化する。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(3) 教育課程改正に伴う設置科目数等の取扱方針について

ア 趣旨

教育課程改正の基本方針を踏まえ、本学の特色ある教育内容の充実が図られるよう、27年度からの教育課程改正に伴う設置科目数削減等の取扱方針について、その承認を求める。

イ 主な意見

- ・これまでどのような検討を経て、設置科目数が増えたのか。
- ・本学の教育内容が学際的であるため、科目の設置もいわゆる定型がなく、この10年間試行錯誤しながら、関係する委員会で検討し必要と判断した科目を増やしてきた。カリキュラム改正の中で本来必要な科目に見直すこととした。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) デザイン学部・学科の再編成（案）について

社会が求める人材像や現在の多様化するデザイン力の涵養を図るため、柔軟な教育方法及び組織体制による授業等を実施できるよう、デザイン学部・学科の再編成を検討することについて報告がされた。

(2) 県西部高等教育ネットワーク会議の今後のあり方について

静岡県西部地域の8大学及び関係行政機関による静岡県西部高等教育ネットワーク会議の事務局が、浜松市から本学に移管されたこと、また、同ネットワーク会議の今後のあり方を検討する実務者レベルの機関を設け、検討を進めることについて報告がされた。

(3) 平成 24 年度就職内定状況について

平成 24 年度卒業予定者の就職内定状況について、内定率 62.2%で昨年同期より約 10 ポイント上昇していること、また現在未内定の学生には引き続き教職員が連携して個別支援を徹底していくことが報告された。

以上により議事を終了